

2022年度 決算公告

東京都渋谷区道玄坂一丁目10番8号
東急少額短期保険株式会社
代表取締役社長 片岡 純一

2022年度（2023年3月31日現在）貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	139,954	保険契約準備金	30,280
預貯金	139,954	支払備金	17,265
無形固定資産	19,508	責任準備金	13,015
ソフトウェア	19,508	その他負債	9,859
その他資産	4,378	未払法人税等	400
未収保険料	3,332	未払金	4,408
前払費用	589	未払費用	3,494
その他の資産	456	前受収益	1,063
供託金	12,000	預り金	485
		その他の負債	8
		賞与引当金	1,400
		負債の部 合計	41,541
		(純資産の部)	
		資本金	299,500
		資本剰余金	199,500
		資本準備金	199,500
		利益剰余金	△364,700
		その他利益剰余金	△364,700
		繰越利益剰余金	△364,700
		株主資本合計	134,299
		純資産の部 合計	134,299
資産の部合計	175,841	負債及び純資産の部合計	175,841

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。

2. 固定資産の減価償却方法

無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 賞与引当金は従業員賞与に充てるため、支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を基準に計上しております。

4. 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

5. 責任準備金の金額は保険業法施行規則第211条の46の規定に基づく準備金であり、同第1項第1号イに規定する未経過保険料の金額は、純保険料等に基づく算出方法により計算しております。

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

少額短期保険業者の資産運用は、預貯金(外貨建てを除く)・国債・地方債等に限定されているうえ、当社では安全性・流動性の確保のため預貯金による運用を基本方針としております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

当事業年度末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
① 預貯金	139,954	139,954	—

(注) 金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち重要性があるものは上記表のとおりであります。これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。

7. 当事業年度末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりであります。

(支払備金)

支払備金	15,360 千円
IBNR 備金	1,905 千円
計	17,265 千円

(責任準備金)

普通責任準備金	9,886 千円
異常危険準備金	3,128 千円
計	13,015 千円

8. 関係会社に対する金銭債権又は金銭債務

関係会社に対する金銭債務 3,854 千円

9. 1株当たりの純資産額は13,456円89銭であります。算定上の基礎である純資産額は134,299千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の当期末発行済株式数は9,980株であります。

2022年度 { 2022年4月1日から
2023年3月31日まで } 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	43,719
保険料等収入	43,716
保険料	43,716
資産運用収益	1
利息及び配当金等収入	1
その他経常収益	0
経常費用	117,350
保険金等支払金	19,725
保険金等	19,545
解約返戻金	166
その他返戻金	13
責任準備金等繰入額	3,823
支払備金繰入額	1,344
責任準備金繰入額	2,479
事業費	93,801
営業費及び一般管理費	81,980
税金	4,939
減価償却費	6,882
経常損失	73,631
特別利益	—
特別損失	—
税引前当期純損失	73,631
法人税及び住民税	290
法人税等調整額	—
法人税等合計	290
当期純損失	73,921

- (注) 1. 記載金額は、千円未満を切捨てて表示しております。
2. 正味収入保険料は43,536千円であります。
3. 正味支払保険金は19,545千円であります。
4. 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は次のとおりであります。

支払備金繰入額	1,642 千円
<u>IBNR 備金繰入額</u>	<u>△297 千円</u>
計	1,344 千円

5. 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額	1,165 千円
<u>異常危険準備金繰入額</u>	<u>1,313 千円</u>
計	2,479 千円

6. 利息及び配当金等収入の内訳は、預貯金利息 1 千円であります。

7. 関係会社との取引による収入総額は 124 千円、費用総額は 9,839 千円であります。

8. 関連当事者との取引は次のとおりであります。

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	科目	期 末 残 高
親会社の 子会社	東急リゾーツ& ステイ株式会社	—	保険契約の 締結	未収保 険料	1,272

(取引条件および取引条件の決定方針等)

保険計理人の数理計算に基づく商品を管轄財務局へ届出の上で提供しております。

9. 1 株当たりの当期純損失は 7,406 円 94 銭であります。算定上の基礎である当期純損失は 73,921 千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の期中平均株式数は 9,980 株であります。なお、潜在株式調整後 1 株あたり当期純利益金額については潜在株式がなく 1 株あたり当期純損失であるため記載しておりません。